

省エネルギー・新エネルギー関連技術やサービス開発など、環境・エネルギー産業の取組を支援します！

令和5(2023)年度 環境・エネルギー産業総合支援事業 (開発支援)補助事業

道では、積雪寒冷地である本道の地域特性を活かした環境・エネルギー産業の振興を図ることを目的に、省エネルギーや新エネルギーに関連する製品の開発・販売、サービスを提供する事業者を対象に製品の技術開発や改良、実証試験及び販路拡大のための市場調査、展示会出展等の取組を支援をします。

【対象事業は？】

- 道内事業者の環境関連の技術開発や実証などを行う事業で、次のいずれかを満たすこと
 - 原則として、道内の大学などと連携して行う技術開発や実証研究
 - 道内事業者が有する技術や開発した製品、サービスを核として複数事業者が連携した実証事業等
- 道内の環境関連の製品、サービスの開発や事業化を図る事業で、次の事業内容とする
 - 製品、サービスの有効性や環境影響、コスト算定等を目的として行う試作品の作成や改良
 - ①と併せて行う収益性や販路等のマーケティングを目的として行う市場調査

【補助対象者は？】

- 道内に主たる事務所又は事業所を有する法人
- 1の者を含む複数事業者による共同体(コンソーシアム)

【補助額は？】

▶ 補助対象経費※の 2/3以内

※原材料、機械装置費、技術導入費、特許実施費、外部委託費、人件費(臨時雇用)調査費、展示会出展経費ほか

▶ 限度額

・ 1,000万円

・ 300万円※

※市場調査と併せて実施する
展示会出展の場合

【対象事業例は？】

本道の地域特性を活かした次の事業

- 積雪寒冷地における環境・エネルギー技術の向上に資する技術開発、実証試験
- 次世代自動車の普及・導入拡大に資する事業、実証試験
- バイオマス(木質、家畜残さ等)の有効活用の促進に資する技術開発、実証試験
- 住宅・ビルの省エネルギー化、断熱性能の向上に資する技術開発、実証試験
- 多様なエネルギー(太陽光、風力発電、蓄電池等)を組み合わせた自立分散型エネルギーの促進に資する技術開発、実証試験
- 農林水産業や建設業における省エネルギー型の機械、機器の開発
- 省エネ設備の効率的な制御やエネルギーの見える化可能となるシステム(BEMS、FEMS)の開発

【スケジュール(令和5年度)】

- 募集期間 4月～5月19日
 - 有識者会議 6月～
 - 事業計画の認定・通知 6月～
 - 補助金申請・決定 認定通知後順次
 - 補助事業完了期限 翌年2月1日まで
- ※補助金は事業完了後の清算払いです。

《お問い合わせ先》

北海道 経済部 環境・エネルギー局
環境・エネルギー課 環境産業担当 吉野

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 [道庁本庁舎8階]

TEL 011-204-5320 (ダイヤルイン)

FAX 011-222-5975

H P <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/148193.html>

Mail keizai.kanene1@pref.hokkaido.lg.jp



これまでの支援事業例

技術開発のエネルギー分野	補助事業の概要（開発研究、改良、実証試験）
積雪寒冷地型の高効率型省エネ住宅の研究 エネルギー・マネジメント・システムの開発 (EMS、HEMS、BEMS) 	太陽熱利用パッシブ住宅の研究
	小規模酪農家向けエネルギーマネジメントシステム(EMS)の開発
	再生可能エネルギー利用の空調住宅として普及させるモデル住宅の開発
	再生可能エネルギー利用省エネシステムの開発
地中熱の利活用	地中熱ヒートポンプと太陽熱を利用した冷暖房システムの開発 (住宅用、工場用)
太陽熱の利活用	積雪寒冷地における融雪と地中ヒートポンプの高効率化の開発（住宅用）
融雪技術の向上	融雪槽を利用した地中熱ヒートポンプの自動運転切替、タブレット（見える化）による遠隔操作の開発（住宅用）
バイオマス（家畜、木質等）の利活用	家畜ふん尿から抽出した固形物の燃料化装置の開発
	バイオマス液体燃料機器の開発
	炭層メタンガス(CBM)を地域のエネルギーとして活用する研究
積雪寒冷地における風力の利活用	北海道の自然環境に適した小形風力発電機向け発電機の開発
積雪寒冷地における電気自動車（EV）の改良	積雪寒冷地に即した小型電気自動車の改良、走行実証試験
 水素の利活用	水素エネルギーを利用した自動窓開閉装置の開発
	水素社会実現に向けた水素タンク・水素蓄圧器の開発
	水素社会実現に向けた水素タンク製品化に向けた開発
	水素タンク開発における新構造技術の開発
その他	熱源を使用せず凍結防止剤を循環させる防積雪装置の開発
	古紙発泡断熱材を使用した抗菌保冷保温ボックスの開発
	中層建築物の木造化に対応した木枠の開発

